

農技連等川辺ブロック活動

大浦干拓に松苗270本

加世田耕地等

県加世田耕地事務所は1月29日、川辺郡大浦町の大浦干拓で16年度農林技術連盟・同事業連盟共催川辺ブロック活動と称したボランティア活



作業前に写真に納まる参加者ら
＝大浦町の現地で

動を実施した。これは、同干拓地が生産者の高齢化等により維持活動が困難な状態にあることから、県加世田耕地事務所をはじめ、県土地改良事業団体連合会、川辺地域市町村耕地

関係課職員、農振興事業連盟加世田支部、同干拓改良区及賛同者などが参加し実施。今回は、(株)ローソンが進める緑の募金活動より集められた収益金で購入した松の苗270本が緑化維持活動のために植樹された。冒頭、田ノ上春雄県加世田耕地事務所長が、日本全国を見渡しても、農作放棄の無いところはここの大浦干拓くらいではないかと思う。この自然と気候風土に恵まれた地域を後世に伝え残していくためにも、今日の作業をけがや事故の無い有意義なものとしてほしい」と挨拶。また、大浦干拓第二土地改良区の窪修一理事長と、(株)ローソン加世田市本町の有山順一オーナーから「われわれ、生産者にとって台風などの自然災害や害虫による被害はとても深刻な問題であります。今日の松苗植樹が、これからの将来、より良い干拓地域の発展につながるものとなることを祈念したい」、「今回の活動が全国で233カ所目の緑化支援事業となり、本県でも8回目のお手伝いとなりまし

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出



作業前に写真に納まる参加者ら
＝川辺町の現地で

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出

川辺メダカ等を救出

九州初の施設完成祝う

炭酸カルシウム製「堅形粉砕機」竣工式



竣工式終了後、写真に納まる関係者ら
＝鹿児島市の同社で

(株)三友(米盛司郎社長)は1月29日、鹿児島市谷山港の同社敷地内で石灰石などを微粉末(炭酸カルシウム)にする「堅形粉砕機」竣工式を行い、関係者約20人が出席して

新たな施設の完成を祝った。炭酸カルシウムを製造する同タイプの機械導入としては九州で初。竣工式では、同社の江夏弘康会長、米盛社長をはじめ、関係者が玉ぐしを捧げ、安全を祈願。引き続き行われた点火式では、江夏会長が始動スイッチを押して機械を稼働させ竣工を祝った。同社は、今後さらに高まる予想される炭酸カルシウムなどの粉体需要に対し、既存の破砕機(1、2号機)の生産能力、設備能力では対応できないことから、(株)アイステクニカ社製の「KVM-MILL(堅形ローラーミル)」を3号機として新たに導入した。処理能力は1時間当たり45ト。投資額は1億8000万円(本体は1億円)。なお製造された粉体は、道路工事の舗装材や家畜飼料に混ぜて使用される。

ヨイコムに新分野事例80件を追加

建設業振興基金

建設業振興基金は、同財団のホームページ「ヨイケンセツドットコム」に、「中小・中堅建設業の新分野進出事例」80件を追加した。

新分野進出事例の収集を始めており、これまでに252事例をホームページ上で公開していた。今回追加した事例のうち、8件については14年度調査をフォローアップしたもの。残り72件が16年度に新たに収集した事例となっている。

大龍小卒業生を救う会

増元さんら救出へ寄付



北朝鮮に拉致された増元さんらの救出活動に役立てて、増元さんらの出身小学校の同窓会

北朝鮮に拉致された増元さんらの救出活動に役立てて、増元さんらの出身小学校の同窓会

ヤパン社長は1月29日、始良郡始良町西始良の増元さん宅を訪れ、母親の信子さんに街頭活動で集めた募金の一部5万円を手渡した。同募金は、9日に假屋会長をはじめ、中学校の救う会や鹿児島女子高等学校の同窓会のメンバーら4人が、鹿児島市の山形屋デパート前で街頭活動し、多くの人の関心を持ってもらえるよう、今後も積極的に活動していきたいと話した。

このあと一行は、曾於郡輝北町の市川修一さん宅も訪れ、募金を贈呈した。

“真心とほほ笑みと”をモットーに心より御奉仕致します。

南日本家具工芸株式会社

婚礼家具、造作家具、増改築、ジュータン
カーテン、他、家具総合卸

鹿児島市東開町13-30

TEL (099)269-7111
FAX (099)268-0385